

からだ元気新聞 6月号

動画ご紹介



特集：「梅雨の時期に増える不調」へ鍼灸マッサージという選択肢を。

～湿気・気圧・冷え…この季節だからこそ、身体の“巡り”と“痛み”にいつも以上の向き合いが大切～

01 『膝の痛みが強くなるこの季節。鍼灸マッサージで動ける毎日を』

変形性膝関節症 × 梅雨時の痛み悪化



▶2025年5月14日更新のNHK「きょうの健康」資料より①

②変形性膝関節症は、進行度によって症状が変化します



梅雨時の低気圧や湿度で
関節痛が悪化しやすく

「膝がこわばる」
「立ち上がるのがつらい」
「動きたくない」と感じる
ご高齢者が多くなります



真心込めて /



股関節の痛み	左右に揺れて歩く
股関節の違和感	
お尻の痛み	あぐらやつめ切りが困難
太ももの痛み	
ひざの痛み	

鍼灸マッサージは膝周囲の筋緊張の緩和、関節の可動域の維持、炎症による痛みの緩和などを目的とした施術が可能です

膝関節症患者様に訪問治療



早期対応が、日常生活の自立維持に大きな違いを生みます

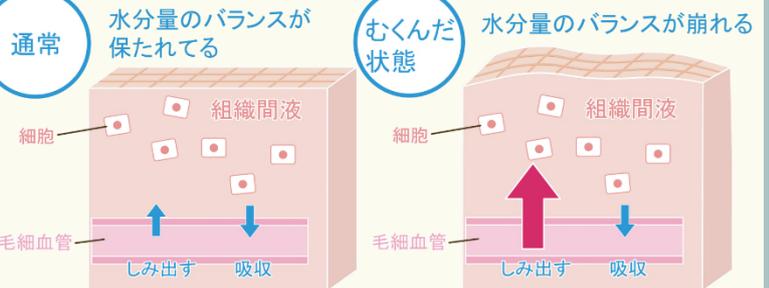
02 『足が重い・だるい・冷える…“めぐり”を整える訪問ケア』

むくみ・リンパ浮腫 × 梅雨の湿度・冷え



湿度が高く、身体に水分がこもりやすいこの季節（6月～7月頃）

特にご高齢者・女性に多いのが「下肢のむくみ・冷え」です。リンパの流れが滞ることで、「足が重だるい」「靴下の跡がくっきり残る」「手足が冷たくて眠れない」といった症状につながります



鍼灸マッサージはリンパ流・血行促進、水分代謝改善、ツボ刺激による内臓調整等で身体の巡りを整え、むくみ軽減が期待できます

むくみの患者様に訪問治療



「動かない＝仕方ない」と諦める前に。優しく届くケアがあります

季節によって変わるご高齢者の症状に合わせ、身体の“めぐり”と“痛み”に寄り添った訪問施術をいたします